

【板橋キャンパス 造形表現学科・3限】後期 見学可能授業一覧（2026年11月9日（月）～11月21日（土））

- ・授業の見学は高校生および受験生のための参加となります。保護者の方は教室内に入れません。
- ・複数の授業を自由に見学できます（途中入退場自由）。移動時は授業の妨げにならないよう静かにご移動をお願いいたします。
- ・○限と◇限の連続授業もありますが、連続して授業を受けていただく必要はありません。

時間/曜日	月	火	水	木	金	土
1限 (9:00-10:40) ※9:30からの参加になります。		62・基礎平面 4 期 63・育ちのための表現F	64・表現とデザインB2(情報)4期 65・住環境デザインII	66・構物Ⅱ 67・染色造形B	68・素材と表現 4 期	69・構物造形B
2限 (10:55-12:35)	70・71・72・73・マテリアル実習 74・表現とデザインA2 (グラフィック) 75・表現とデザインB2 (情報デザイン)	76・基礎平面 4 期 77・育ちのための表現F	78・表現とデザインB2(情報)4期 79・住環境デザインII	80・構物Ⅱ 81・染色造形B	82・素材と表現 4 期	83・構物造形B
3限 (13:25-15:05)	84・85・86・87・マテリアル実習 88・表現とデザインA2 (グラフィック) 89・表現とデザインB2 (情報デザイン)	90・表現とデザイン (住環境) 91・表現とデザイン (インテリア) 97・芸術文化論	92・グラフィックデザインB 93・陶芸Ⅰ 94・金工・ジュエリーⅡ4期		95・基礎造形 3 期 96・表現とデザイン (住環境)	
4限 (15:20-17:00)	98・99・100・101・マテリアル実習 102・情報メディアデザイン	103・表現とデザイン (住環境) 104・表現とデザイン (インテリア)	105・グラフィックデザインB 106・陶芸Ⅱ 107・金工・ジュエリーⅡ4期		108・基礎造形 3 期 109・表現とデザイン (住環境)	

学科名	授業番号	日程	時間	授業名	教員	授業の概要	備考
造形表現学科	84	11/ 9 (月) 11/16 (月)	3限 (13:25-15:05) ※13:10集合	マテリアル実習 ※2～4限の連続授業	押元 信幸	課題名「ボディジュエリー」真鍮線材と自由な素材を用いてカルダーをオマージュした制作	定員：5 名
	85	11/ 9 (月) 11/16 (月)		マテリアル実習 ※2～4限の連続授業	早瀬 郁恵	布や色材を用いて様々な展開を試み、色と形の構成、及び視覚的効果について考えることを目的とする。	定員：5 名
	86	11/ 9 (月) 11/16 (月)		マテリアル実習 ※2～4限の連続授業	高田 三平	陶芸の粘土の特性を知り、表現する手がかりを見つける。	定員：5 名
	87	11/ 9 (月) 11/16 (月)		マテリアル実習 ※2～4限の連続授業	大木 敦子	繊維素材を用いた構成の基礎を学ぶ。観察、抽出を通して素材の特徴を考察し構成する。	定員：5 名
	88	11/ 9 (月) 11/16 (月)		表現とデザインA2 (グラフィック) ※2限との連続授業	瀬戸 啓太	①様々な情報やデータの整理・構成方法を知りながら視覚的に表現し、グラフィックデザインを理解します。情報の視覚化によりどのような作用が生まれるかを学び、数値や情報、知識等を視覚的に表現し、グラフや地図、作法、方法などをデザイン制作で学びます。 ②ブランディングに関するデザイン表現のコンセプト作成、企画立案などをグラフィックデザインを通して表現すること学びます。プロの事例を通して価値の創出方法・差別化・マーケティング的視点について知識を深め、表現方法を分析し、素材・メディア等の性質やその構成方法を理解し、課題作品制作に活用します。 ③Adobe社のデザインアプリケーションソフト Illustrator, Photoshop等を使いコンピュータースキルを学び、課題を通してICT技術を身に付けます。 ④デザインがコミュニケーションツールとしてどのように機能しているかを学び、その相互性をグラフィックデザインだけに留まらず、さまざまな創作活動に活用できる力を身に付けます。	定員：5 名
	89	11/ 9 (月) 11/16 (月)		表現とデザインB2 (情報デザイン) ※2限との連続授業	宮本 真帆	情報(デジタル)メディア系デザインの表現の基礎。この分野の扱う領域は幅広く、WEBサイトやスマートフォンアプリなどのコンテンツメディアから体験型の情報装置なども含まれ、作品を構成する要素もユーザーインターフェイス、インタラクション、CG画像、グラフィックや映像系の素材、LEDやセンサーなどの電子素材と多様である。	定員：5 名
	90	11/10 (火) 11/17 (火)		表現とデザイン (住環境) ※4限との連続授業	手嶋 尚人	表現とデザイン (住環境)において、住空間の基本的な設計デザインの技術を身につけてきた。表現とデザインD2 (住環境)では、そのことを踏まえ、より高度な住空間の設計と併せ、周辺環境との関係を含んだデザインを修得していく。課題としては、周辺環境の調和をテーマとしてアトリエをもつ住宅設計を行う。	定員：5 名
	91	11/10 (火) 11/17 (火)		表現とデザイン (インテリア) ※4限との連続授業	豊田 聡朗	表現とデザイン (インテリア) 第1課題：素材とエスキース 様々な素材を通してエスキースの進め方、モデルの製作方法を紹介。 エスキースの意味を理解し、自分のアイデアの具現化する手がかりを学ぶ。 エスキース模型の制作の仕方を基に「ひとつの空間」の計画に挑む。 第2課題：家具のエスキース模型製作を中心に学ぶ。 家具の機能、物の大きさ、形など様々な要素を理解デザインの基礎を学ぶ。	定員：5 名
	92	11/11 (水) 11/18 (水)		グラフィックデザインB ※4限との連続授業	瀬戸 啓太	商品の開発コンセプト、デザインの表現コンセプト開発は少人数のグループワークで行い、マーケティング的思考を踏まえた企画立案を行う。その後の制作は個々に扱い、実践的なデザインに展開する。	定員：5 名
	93	11/11 (水) 11/18 (水)		陶芸Ⅱ ※4限との連続授業	高田 三平	基本的な成形方法―手びねり(玉づくり・ひもづくり)タタラづくり、ろくろ成形、石膏型成形―を実習する。また、さまざまな装飾技法(を糸池へ装飾、下絵付け、土絵付けなど)を紹介し、それを用いることで新たな着想を見いだし独自の制作に結びつける。	定員：5 名
	94	11/11 (水) 11/18 (水)		金工・ジュエリーⅡ4期 ※4限との連続授業	押元 信幸	従来の手づくり中心であったものづくりは、熟練を重んじた名人だけが到達できる限られた表現活動だったといえる。しかし近年のものづくりでは、様々な形でCGやデジタル技術が入り込み、デザインによっては本人よりも緻密で細かい表現が経験者の少ない作り手にも表現することが可能になった。本授業では、まず3Dモデリングによりデザインされた指輪などを3Dプリントで立体化し、ジュエリー制作の原型制作をバーチャルと模型により検討する。さらに最新の鋳造機を用いて実際の金属に置き換えることで、ジュエリーの装身具としての新たな芸術美や造形美を体験しながら学んでいく。さらにデジタルファブリケーションの体験として、CNC彫刻機により金属を直接加工するオーナメントをデザインし制作する。	定員：5 名
	95	11/13 (金) 11/20 (金)		基礎造形 3 期 ※4限との連続授業	豊田 聡朗	授業は、1期と3期に分かれ2つのテーマに沿いながら制作する 造形表現学科の目的、自由に発想する為の方法、何を表現したら良いか、どう表現したら良いか、どんな方法を選んだら良いか、どんな素材を選んだら良いか、どんな技術や道具を使ったら良いか、等々を体験する。造形の表現として大きなテーマ「環境」・「自己」を掲げ、それぞれのテーマで物事への深い洞察、調べ、発見等の過程から自由な発想を導き出す手がかりを見つける。	定員：5 名
	96	11/13 (金) 11/20 (金)		表現とデザイン (住環境) ※4限との連続授業	金城 正紀	表現とデザインD1 (住環境)において、住空間の基本的な設計デザインの技術を身につけてきた。表現とデザインD2 (住環境)では、そのことを踏まえ、より高度な住空間の設計と併せ、周辺環境との関係を含んだデザインを修得していく。 課題としては、周辺環境の調和をテーマとしてアトリエをもつ住宅設計を行う。	定員：5 名
	97	11/10 (火) 11/17 (火)		芸術文化論	黒澤 伸	人間にとって芸術とは何なのか、文化とは如何に形成されているのかについて考察する授業です。人が芸術活動を生み出し文化を育むプロセスを、歴史や自然現象などの大きな視点と現代の芸術活動や日頃の創作活動といった身近な視点の両方をクロスさせ、観ること観ること、生きていること、表現することに関わります。	定員：5 名 スケジュールによって、学生同士によるグループワークを行なっている場合があります。